

**マジックコネクト  
管理機能の利用手順  
(一般ユーザ用)**

**第 4.5 版**

**NTT テクノクロス株式会社**

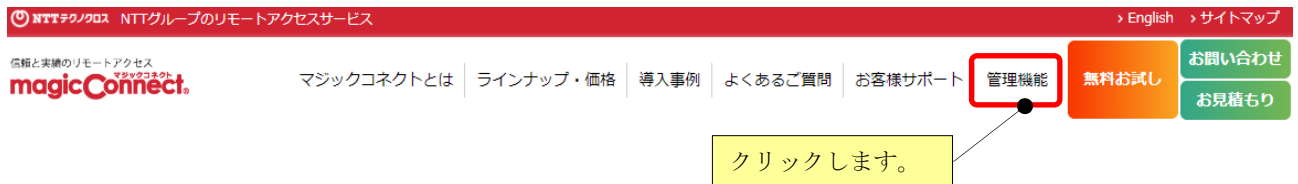
## 目次

<b>管理機能へログイン</b> .....	<b>3</b>
<b>管理機能の利用手順</b> .....	<b>6</b>
1. アクセス履歴の表示 .....	6
2. グループ化 .....	14
3. パスワードの変更 .....	16

## 管理機能へログイン

管理機能へログインする手順を説明します。

- (1) マジックコネクトホームページ ( <https://www.magicconnect.net/> ) より、「管理機能」をクリックします。



- (2) 「マジックコネクト(従来モデル)」の「一般ユーザ向け」の「サーバ」欄に、ご利用中のマジックコネクトサーバのホスト名を入力して、「アクセス」をクリックします。

### 管理機能

新モデルのマジックコネクト・ネオ とマジックコネクト(従来モデル)の 管理機能をご用意しております。タブからモデルを選び、アカウント管理者 または一般ユーザ 向けの管理機能をご確認ください。

(3) マジックコネクでご利用中のユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン]を押します。

## ユーザ認証

ユーザ名とパスワードを入力してください。

ユーザ名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
	<input type="button" value="ログイン"/>

①マジックコネクでご利用中のユーザ名とパスワードを入力します。

②[ログイン]を押します。

(4) 下記の画面から、利用する管理機能を選択してください。

メニュー | アクセス履歴 グループ化 パスワード変更 ログアウト

メニュー

ようこそ **user1** さん。

このページは、MagicConnectのユーザ情報管理用メニューです。  
ご利用になりたいメニューを選択してください。

[アクセス履歴の表示](#)

[グループ化](#)

[パスワードの変更](#)

[ログアウト](#)

ログインしたアカウントが表示されます。  
説明例では、**user1** でログインしています。

以下の管理機能を利用できます。

メニュー | アクセス履歴 グループ化 パスワード変更 ログアウト

メニュー

ようこそ **user1** さん。

このページは、MagicConnectのユーザ情報管理用メニューです。  
ご利用になりたいメニューを選択してください。

[アクセス履歴の表示](#)

[グループ化](#)

[パスワードの変更](#)

[ログアウト](#)

**アクセス履歴の表示**  
ログインしたユーザのアクセス履歴を閲覧できます。

**グループ化**  
ログインしたユーザの接続構成を閲覧できます。

**パスワードの変更**  
ログインしたユーザのパスワードを変更できます。

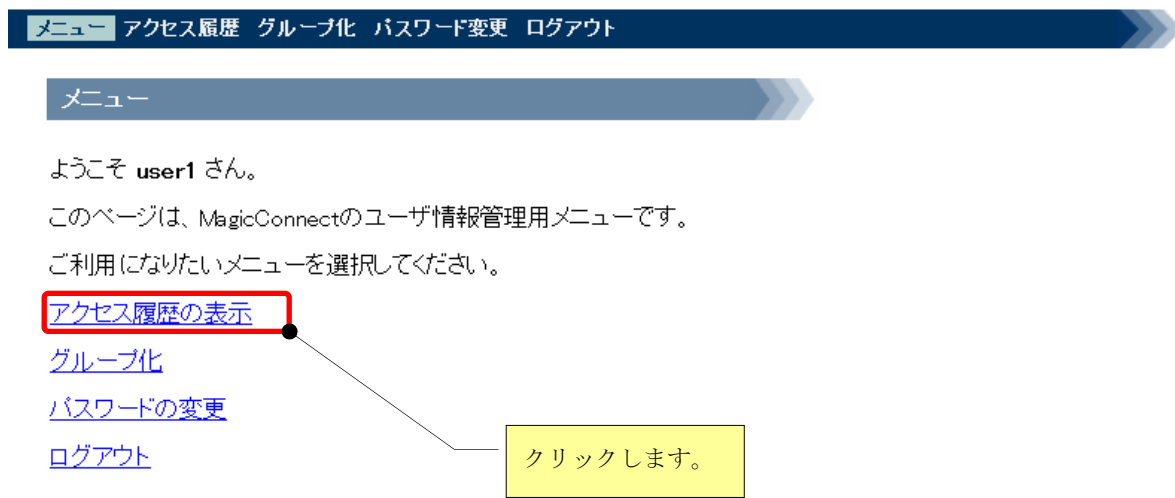
**ログアウト**  
管理機能からログアウトします。

## 管理機能の利用手順

### 1. アクセス履歴の表示

ログインしたユーザのアクセス履歴を閲覧する場合に利用します。

(1) メニュー画面から「アクセス履歴の表示」をクリックします。



(2) 表示させる月のリンクをクリックします。



2018年1月のアクセス履歴(ビューア)を表示しています。

■ ビューアの履歴のみ表示する

(メニューから「アクセス履歴の表示」を選択した直後は、この表示状態です。)

ビューア (手元端末で動作するプログラム) がマジックコネクトサーバへ接続した履歴のみを表示します。

この表示状態では、各行の背景色はすべて白色です。

①「ビューアのみ」を選択します。

種別	<input checked="" type="radio"/> ビューアのみ	<input type="radio"/> クライアントのみ	<input type="radio"/> ビューアとクライアント
認証結果	<input checked="" type="radio"/> 認証に成功した接続のみ	<input type="radio"/> 認証に失敗した接続のみ	<input type="radio"/> 全ての接続
拡張表示	<input type="checkbox"/> 接続先クライアントを表示	<input type="checkbox"/> 接続元ビューアを表示	

更新

②[更新]を押します。

ビューアの履歴のみ表示されます。

ユーザ名		user1		
累計接続時間		13分 59秒		
接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス
01/23 22:01:05	01/23 22:01:06	1秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8
01/23 22:01:52	01/23 22:15:49	13分 57秒	198.51.100.1	1C:AB:A7:C3:F7:C5
01/23 22:17:22	01/23 22:17:23	1秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8

「接続元アドレス」は、ビューアが動作する端末のグローバルIPアドレスです。  
「MACアドレス」はビューアが動作する端末のMACアドレスです。

■ クライアントの履歴のみ表示する

クライアント（対象機器で動作するプログラム）がマジックコネクトサーバへ接続した履歴のみを表示します。

この表示状態では、各行の背景色はすべて紫色です。

① 「クライアントのみ」を選択します。

種別  ビューアのみ  クライアントのみ  ビューアとクライアント  
認証結果  認証に成功した接続のみ  認証に失敗した接続のみ  全ての接続  
拡張表示  接続先クライアントを表示  接続元ビューアを表示

更新

② [更新]を押します。

クライアントの履歴のみ表示されます。

ユーザ名		user1		
累計接続時間		298 時間 33 分 26 秒		
接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス
08/01 00:00:00	08/07 17:47:22	161 時間 47 分 22 秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8
08/07 17:47:26	08/07 17:48:10	44 秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8
08/07 17:48:14	08/08 18:24:48	24 時間 36 分 34 秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8
08/08 18:25:28	08/13 10:34:14 [接続中]	112 時間 08 分 46 秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8

「接続元アドレス」は、クライアントが動作する端末のグローバル IP アドレスです。  
「MAC アドレス」はクライアントが動作する端末の MAC アドレスです。



■ ビューアとクライアントの両方の履歴を表示する

ビューアとクライアントのそれぞれがマジックコネクトサーバへ接続した履歴を混在させて表示します。

この表示状態では、各行の先頭に「種別」の列が追加されます。

「種別」が「Viewer」の行は、ビューアの履歴です。この行の背景色は白色です。

「種別」が「Client」の行は、クライアントの履歴です。この行の背景色は紫色です。

①「ビューアとクライアント」を選択します。

種別  ビューアのみ  クライアントのみ  ビューアとクライアント

認証結果  認証に成功した接続のみ  認証に失敗した接続のみ  全ての接続

拡張表示  接続先クライアントを表示  接続元ビューアを表示

**更新**

②[更新]を押します。

ユーザ名		user1			
累計接続時間		34分 31秒			
種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス
Viewer	01/23 22:01:05	01/23 22:01:06	1秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8
Viewer	01/23 22:01:52	01/23 22:15:49	13分 57秒	198.51.100.1	1C:AB:A7:C3:F7:C5
Viewer	01/23 22:17:22	01/23 22:17:23	1秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8
Client	01/27 08:26:54	01/27 08:27:11	17秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8
Client	01/29 20:26:22	01/29 20:46:37 <b>[接続中]</b>	20分 15秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8

先頭列に「種別」が追加されます。

■ 認証エラーの履歴を表示する

マジックコネクトサーバの認証に成功した履歴だけでなく、認証エラーの履歴も含めて表示します。これにより、認証エラーの理由を確認できます。

この表示状態では、各行の末尾に「認証結果」の列が追加されます。

- 「認証結果」が「成功」の行  
認証に成功した履歴です。
- 「認証結果」が「失敗：」や「失敗（N回）：」で始まる行  
認証エラーの履歴です。  
「失敗（N回）：」は N 回の連続した認証エラーの履歴が、システムにより一つにまとめられたことを表します。  
「：」に続くメッセージが「認証エラーの理由」を表します。

一般ユーザが解決できない認証エラーの場合「ユーザが解決できない認証エラーです。」と表示されます。この場合は、アカウント管理者向けの管理機能で具体的な理由を確認できます。詳しくは、マジックコネクトホームページ（<https://www.magicconnect.net/>）より、[お客様サポート]-[マニュアル]-[ご利用中のトラブル関連]にある「[接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法](#)」をご覧ください。

①「ビューアとクライアント」を選択します。

種別	<input type="radio"/> ビューアのみ	<input type="radio"/> クライアントのみ	<input checked="" type="radio"/> ビューアとクライアント
認証結果	<input type="radio"/> 認証に成功した接続のみ	<input type="radio"/> 認証に失敗した接続のみ	<input checked="" type="radio"/> 全ての接続
拡張表示	<input type="checkbox"/> 接続先クライアントを表示	<input type="checkbox"/> 接続元ビューアを表示	

②「全ての接続」を選択します。

③[更新]を押します。

種別	接続開始時刻	接続終了時刻	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	認証結果
Client	09/01 00:00:00	09/03 19:18:37	67 時間 18 分 37 秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	成功
Client	09/03 19:21:57	09/11 03:25:57	176 時間 04 分 00 秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	成功
Viewer	09/12 17:58:40	09/12 17:58:40	-	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	失敗：MCビューアから送信されたパスワードと、サーバに登録されているパスワードが異なります。詳細
Client	09/22 15:52:46	09/22 15:59:07	-	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	失敗（100 回）：MCクライアントから送信されたパスワードと、サーバに登録されているパスワードが異なります。詳細
Viewer	09/26 13:30:26	09/26 13:30:26	-	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	失敗：ユーザが解決できない認証エラーです。詳細
Viewer	09/26 13:30:53	09/26 13:30:53	-	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	失敗：ユーザが解決できない認証エラーです。詳細

最終列に「認証結果」が追加されます。

■ ビューア・クライアント間の接続履歴を表示する

ビューア・クライアント間の接続で利用された、リモートデスクトップや WOL 等のリモート操作アプリの履歴を表示します。

種別  ビューアのみ  クライアントのみ  ビューアとクライアント

認証結果  認証に成功した接続のみ  認証に失敗した接続のみ  全て

拡張表示  接続先クライアントを表示  接続元ビューアを表示

**更新**

①「ビューアとクライアント」を選択します。

②「接続先クライアントを表示」及び「接続元ビューアを表示」にチェックを入れます。

③[更新]を押します。

種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	接続元ビューア or 接続先クライアント *																														
Viewer	08/04 18:58:42	08/05 17:58:44	23 時間 00 分 02 秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8 >>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>接続元ビューア or 接続先クライアント *</th> <th>ポート</th> <th>接続開始日時</th> <th>接続終了日時</th> <th>グローバルIPアドレス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>user2</td> <td>3389</td> <td>08/04 18:59:25</td> <td>08/04 19:00:02</td> <td>208.0.113.1</td> </tr> <tr> <td>user1</td> <td>3389</td> <td>08/04 19:00:07</td> <td>08/04 19:00:43</td> <td>198.51.100.1</td> </tr> <tr> <td>user.mc3000</td> <td>5009</td> <td>08/04 19:03:21</td> <td>08/04 19:03:45</td> <td>208.0.113.1</td> </tr> <tr> <td>user.mc3000</td> <td>5009</td> <td>08/05 16:25:11</td> <td>08/05 16:25:13</td> <td>208.0.113.1</td> </tr> <tr> <td>user1</td> <td>3389</td> <td>08/04 19:00:07</td> <td>08/04 19:00:43</td> <td>198.51.100.1</td> </tr> </tbody> </table>	接続元ビューア or 接続先クライアント *	ポート	接続開始日時	接続終了日時	グローバルIPアドレス	user2	3389	08/04 18:59:25	08/04 19:00:02	208.0.113.1	user1	3389	08/04 19:00:07	08/04 19:00:43	198.51.100.1	user.mc3000	5009	08/04 19:03:21	08/04 19:03:45	208.0.113.1	user.mc3000	5009	08/05 16:25:11	08/05 16:25:13	208.0.113.1	user1	3389	08/04 19:00:07	08/04 19:00:43	198.51.100.1
接続元ビューア or 接続先クライアント *	ポート	接続開始日時	接続終了日時	グローバルIPアドレス																																
user2	3389	08/04 18:59:25	08/04 19:00:02	208.0.113.1																																
user1	3389	08/04 19:00:07	08/04 19:00:43	198.51.100.1																																
user.mc3000	5009	08/04 19:03:21	08/04 19:03:45	208.0.113.1																																
user.mc3000	5009	08/05 16:25:11	08/05 16:25:13	208.0.113.1																																
user1	3389	08/04 19:00:07	08/04 19:00:43	198.51.100.1																																
Client	08/01 00:00:00	08/07 17:47:22	161 時間 47 分 22 秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8 <<																															
Client	08/07 17:47:28	08/07 17:48:10	44 秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8 <<																															
Client	08/07 17:48:14	08/08 18:24:48	24 時間 36 分 34 秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8 <<																															
Client	08/08 18:25:28	08/15 03:23:18	152 時間 57 分 50 秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8 <<																															
Client	08/15 09:30:00	08/15 17:10:06 [接続中]	7 時間 40 分 06 秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8 <<																															

接続元ビューア or 接続先クライアント \*

>>	user2	3389	08/04 18:59:25	08/04 19:00:02	208.0.113.1
>>	user1	3389	08/04 19:00:07	08/04 19:00:43	198.51.100.1
>>	user.mc3000	5009	08/04 19:03:21	08/04 19:03:45	208.0.113.1
>>	user.mc3000	5009	08/05 16:25:11	08/05 16:25:13	208.0.113.1
<<	user1	3389	08/04 19:00:07	08/04 19:00:43	198.51.100.1
<<					

[[<<], [>>]] は、操作の方向を示します。  
 [>>] は、左欄 (ビューア) から右欄 (クライアント) へ操作  
 [<<] は、右欄 (ビューア) から左欄 (クライアント) へ操作  
 を表します。

左から順番に以下の情報を表します。

- 接続元ビューア/接続先クライアントのユーザ名  
(異なるユーザ間の接続では、強調表示されます。)
- リモート操作アプリが使用したポート番号  
(通常、リモートデスクトップの場合は「3389」、WOLの場合は「5009」です。)
- ビューア・クライアント間の接続開始日時
- ビューア・クライアント間の接続終了日時
- 接続元ビューア/接続先クライアントのグローバルIPアドレス

## ■ 月間利用時間を表示する

リモートデスクトップを利用した時間を1ヶ月ごとに確認できます。

アクセス履歴画面で「利用時間を表示」タブをクリックします。

### アクセス履歴

全てを表示

利用時間を表示

[2017年3月](#) | [2017年4月](#) | [2017年5月](#) | [2017年6月](#) | [2017年7月](#) | [2017年8月](#) | [2017年9月](#) | [2017年10月](#) | [2017年11月](#) | [2017年12月](#) | [2018年1月](#) | 2018年2月

2018年2月のアクセス履歴 (ビューア) を表示しています。

「利用時間を表示」画面に切り替わります。

### アクセス履歴






全てを表示

利用時間を表示

[2017年3月](#) | [2017年4月](#) | [2017年5月](#) | [2017年6月](#) | [2017年7月](#) | [2017年8月](#) | [2017年9月](#) | [2017年10月](#) | [2017年11月](#) | [2017年12月](#) | [2018年1月](#) | 2018年2月

2018年2月の1日ごとのリモートデスクトップ接続時間を表示しています。

表示時刻: 2018年02月05日 15時01分29秒

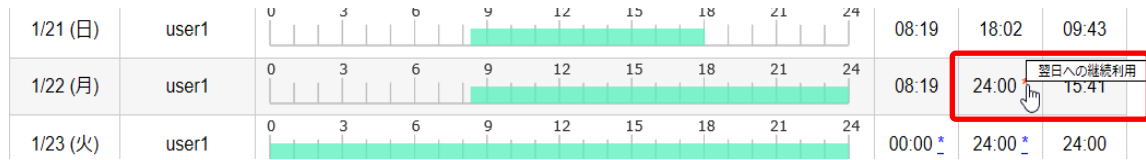
日付	ユーザ名	利用時間	開始	終了	計
2/1 (木)	user1		-	-	-
2/2 (金)	user1		-	-	-
2/3 (土)	user1		-	-	-
2/4 (日)	user1		-	-	-
2/5 (月)	user1		-	-	-

利用時間が日を跨いだ場合、開始時刻または終了時刻に「\*」が表示されます。

「\*」にマウスマウスカーソルを重ねると説明が表示されます。

下図の場合、1/22(月)の利用時間が日を跨でいる為、終了時刻が「24:00\*」と表示されます。

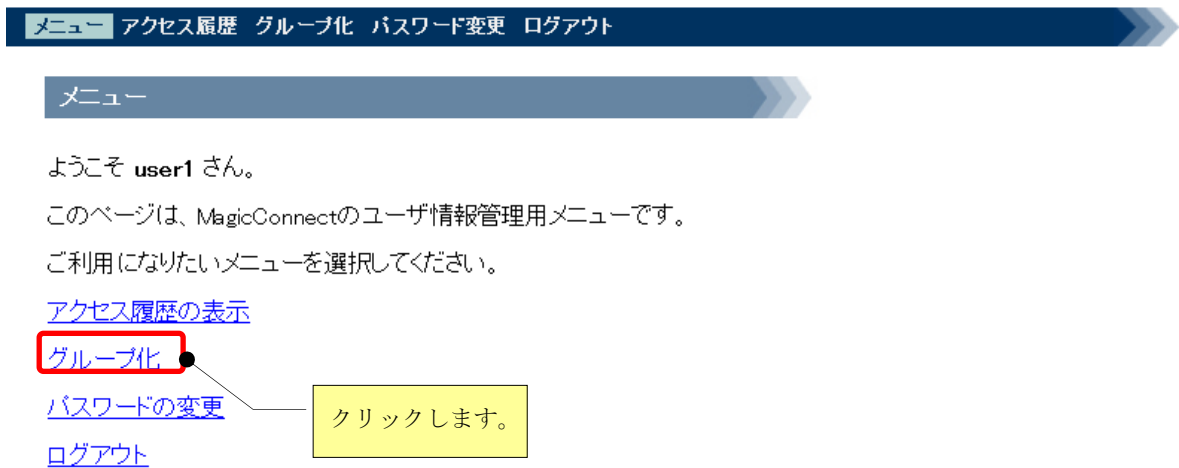
1/23(火)は前日の1/22(月)から日を跨いでいる為、開始時刻が「00:00\*」と表示されます。



## 2. グループ化

ログインした一般ユーザに対する接続構成を閲覧する場合に利用します。

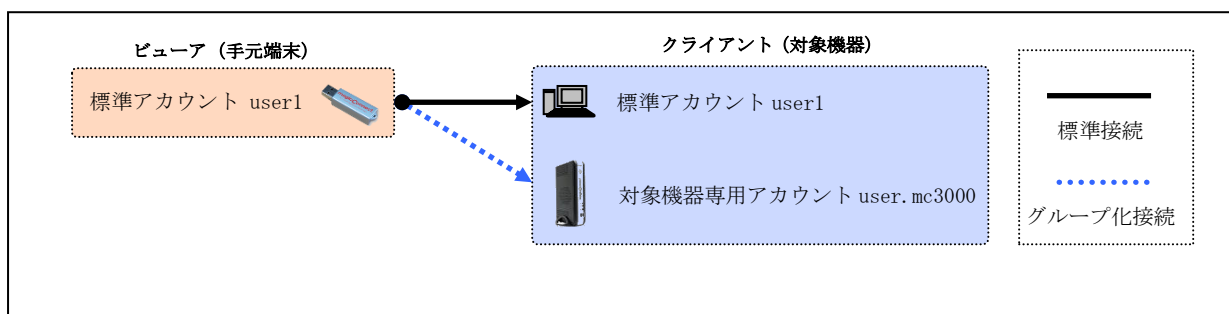
- (1) メニュー画面から、「グループ化」をクリックします。



(2) ログインした一般ユーザに対する接続構成が表示されます。

①説明で用いる「接続構成」は、以下とします。

アカウントは、「標準アカウント」×1 (user1)、「対象機器専用アカウント」×1 (user.mc3000)とし、ビューア・クライアント間の「接続構成」は下図とします。

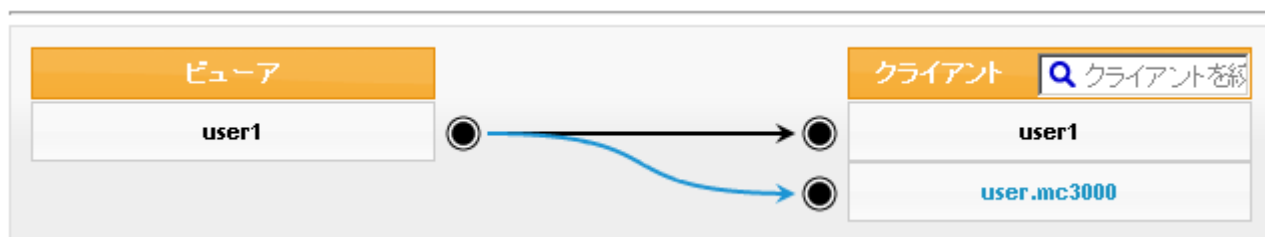


同じユーザ名を有するビューア・クライアント間の接続（黒の実線）は、「標準接続」、異なるユーザ名を有するビューア・クライアント間の接続（青の破線）は、「グループ化接続」となります。

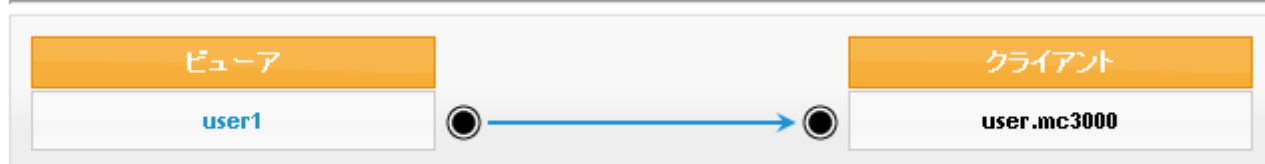
②「標準アカウント」user1 でログインした場合は、以下のように表示されます。

「user1」のビューア・クライアント間の接続は、標準接続です。

「user1」のビューアから、異なるユーザ名「user.mc3000」のクライアントへの接続は、グループ化接続です。



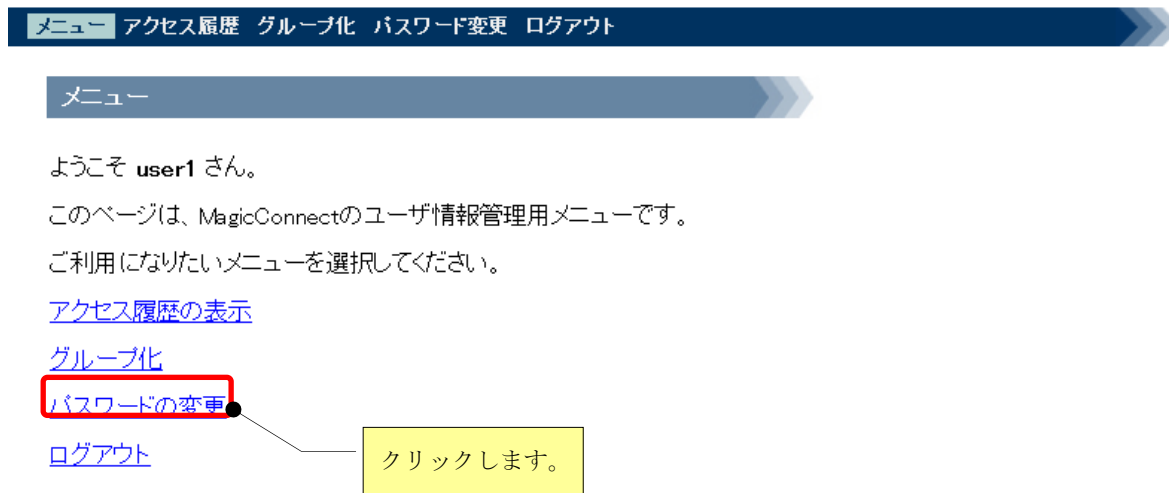
③「対象機器専用アカウント」user.mc3000 でログインした場合は、以下のように表示されます。



### 3. パスワードの変更

ログインした一般ユーザのパスワードを変更する場合に利用します。

(1) メニュー画面から、「パスワードの変更」をクリックします。

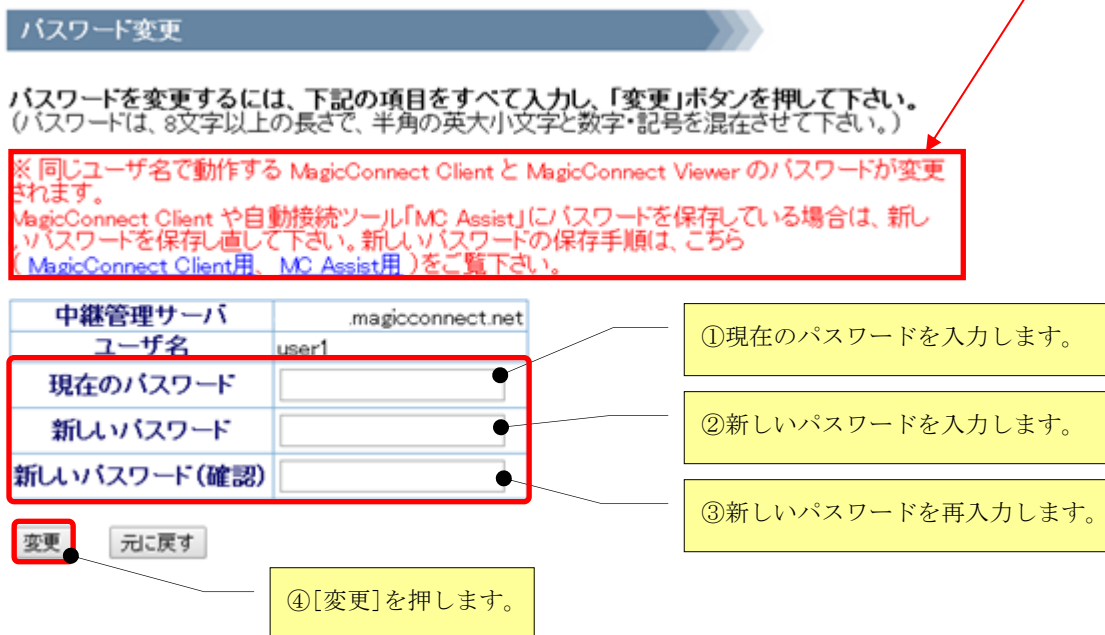


(2) パスワードの変更を行います。

パスワードは、8文字以上で、「半角の英大小文字と数字・記号」を混在させてください。

現在のパスワードと新しいパスワードを入力して、[変更]を押します。

※パスワードを変更した場合、画面に出力される赤字の指示にしたがってください。





(3) パスワードが正常に変更されると、「パスワードは変更されました。」と表示されます。

パスワード変更

パスワードは変更されました。

正常に変更されなかった場合は、パスワードが変更できなかった理由が表示されますので、メッセージに従い、入力をやり直してください。

パスワード変更

パスワードにはアルファベット、数字、記号を混在させてください。

[戻る](#)